

2008年7月18日

積水化成品工業株式会社 技術本部 総合研究所 平井

賢材研活動報告

2003年度総会報告資料

賢材研究会を通じて当社として以下の交流がありました。

1.(財)鉄道総合技術研究所

学術交流会で、当社PTCヒーターの紹介したところ、構造物技術研究部の村田部長から北陸及び東北新幹線のホームの融雪を要望され、工業資材事業部に紹介しました。

2.(財)神奈川科学技術アカデミー

学術交流会で柳田先生から藤嶋昭(光触媒の発明者)理事長を紹介され、当社のアパタイトに興味を持たれ、特販事業部を紹介いたしました。その後、事業部では、藤嶋理事長が主催される光触媒の研究会に入会され、共同で開発していく体制もとられています。

3.岐阜大学元嶋教授

元嶋先生が発明されたコイル状のカーボンを使って電波吸収発泡体の評価をしたいとの要望があり、総研で共同研究をしました。

2006年度総会報告資料

「JR東北新幹線屋根融雪試験」を財団法人・鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部で検討することとなり、屋根構造の中の融雪ヒーター部分について、弊社と開発を進めています。

CMCビーズについて

2003年度より元嶋先生が発明されたコイル状のカーボンを使って電波吸収発泡体の評価をしたいとの要望があり、総研と共同研究をしています。

登録特許：特許第3999171号

「コイル状炭素繊維を含有する樹脂粒子及びその製造方法並びに発泡成形品」

2007年度

マルチセラミックス膜新断熱材料の開発

・JFCC、長岡技術科学大学、名古屋工業大学、京都大学、INAX社、ルネッサンス・エネルギー・インベストメント社、旭硝子社、鈴木油脂工業社との共同研究として、ナノ多孔体粒子、ナノ構造セラミックス膜、透明ナノ多孔体などによる断熱材料の開発を開始しました。